

サポートルーム通信

令和6年9月吉日

No 3

馬込第三小 拠点校校長

馬込小 巡回校校長

池雪小 巡回校校長

<巡回校学校長より>

いつもより少し長い夏休み、こどもたちは充実した夏が過ごせたでしょうか。チャイムの鳴らない4日間の生活、保護者の皆様の支えをもとに、やるべきことにすすんで取り組めた夏になっていれば嬉しいです。予報どおりに暑かった夏休み、また学校が始まってからも残暑がしばらく続くことが予想されます。夏休み明けの学校生活に慣れることに時間がかかるこどももいるかもしれません。一人一人の様子を見守りながら学校生活が円滑に進むよう支援してまいります。

2学期は、学校生活にも慣れたこどもたちにとって大きく飛躍する時期です。すでにこどもたちは所属する学級での生活、サポートルームでの学習のリズムに慣れ、有意義な学校生活を過ごしています。こどもたちには個別、小集団での学習を通して、自分のよさに気付いてほしいです。そして自分のよさに、そして友達のよさに気付き、互いを認め合う機会を増やしていきたいです。こどもたちが、「自分にもできることがある」「自分は自分でいいんだ」という自尊感情を高められるように、私たちはこどもたちに寄り添って指導してまいります。

1学期はサポートルーム保護者会に参加して、保護者の皆様がサポートルームに期待していること、そして我が子の成長を何より喜びに感じていることがひしひしと伝わってきました。巡回教員も個に応じたプログラムを考え、日々指導に工夫を凝らし、こどもたちと共に頑張っている姿が見られます。2学期も、こどもたち一人一人の個性を大切に、友達や教職員との関わりを通してさらに成長することを願っています。引き続き各校の教育活動への御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

大田区立池雪小学校 校長

<サポートルーム行事予定表>

	2学期サポートルーム終了日
馬込第三小学校	12月23日(月)
馬込小学校	12月18日(水)
池雪小学校	12月17日(火)



個人面談 12月19日(木)午前、12月20日(金)、12月23日(月)午後、12月24日(火)

*詳細は後日別紙にてお知らせします。

<こんな学習をしています> 『たすけ合い体感ゲーム』

困ったときの出来事が書いてあるカードを引いて、助けを求める適切な言い方を考え、解決方法を学ぶことができます。活動を進める中で、助けを求められないことや、友達を助けようとするけれども、言葉が出てこないことがあります。そのようなこどもたちに対して、モニター画面やホワイトボードに話型を提示し、視覚化することで気持ちを伝えやすくしています。友達に助けを求めるときや、助ける際には、「丁寧な言葉をつかう」といっためあてを設定しています。繰り返し指導することにより、解決するために「今〇〇がなくて困っています。誰か助けてくれませんか？」と丁寧に伝える姿や、「この〇〇を使って解決できると思いますがどうですか？」と、みんなで協力して仲良く活動する姿が見られるようになりました。友達から「〇〇さんの方法で無事に解決できました。ありがとうございました。」と言われると、嬉しそうな表情をしています。

みんなで助け合って、一つの問題を解決することで協調性が養われ、友達とも上手に関わることができます。これからも、友達との適切な関わり方を身に付けることができるように、指導をしていきます。

(裏面へ続く)

ゲームのすすめ方①

- ①おたすけカードをぜんいんにくばります。
- ②さいしょの人をきめます。
- ③ふせてあるできごとカードの一番上のカードをだれにも見せないようにとり、聞こえる声で読み上げます。

ゲームのすすめ方②

ハッピーカードのとき

みんなで「よかったね!」とつたえます。

おこまりカードのとき

じぶんのおたすけカードでかいけつできるかを考えます。かいけつできる道具をもっていたら、おたすけカードを見せながら、かいけつ方法をせつめいします。かいけつできる道具がなかったら、ともだちにたすけをもとめます。

まわりの人は、かいけつできるおたすけカードをもっていたら、わたしあげます。たすけてもらったら、「ありがとう」と伝えます。

だれかに「たすけて」と言われたら...

⇒たすけてあげる。

自分の力ではたすけられないときは...

⇒ほかの人の力をかりる。

⇒大人の人にそうだんする。

自分や友だちだけではかいけつできないときには、大人の人にそうだんすることは、大切。

こまったことが起きたとき...

⇒自分でかいけつする。

自分ではかいけつできないと思ったら

⇒いろんな人にたすけてもらう。

家族・先生・友だち・大人の人

こまっていることが、まわりの人にはわからないかもしれない...どうする？

⇒「たすけて」「手伝って」「こまっています」と言う。
こまっていることを、話す。

自分から
「たすけて」
「わからない」
と言う・聞く

話し方

●自分でかいけつできるとき

「〇〇をつかって、【 】かいけつします。」

●自分でかいけつできないとき

「いま、【 】で こまっています。

だれか助けてくれませんか。」

●友達でもかいけつできないとき大人に

「いま、【 】で こまっています。

だれか助けてくれませんか。」

